

公開実用平成 3- 35033

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平3-35033

⑬ Int.Cl.⁹

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 平成3年(1991)4月5日

B 65 D 23/08

A

2330-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 容 器

⑯ 実 願 平1-94756

⑰ 出 願 平1(1989)8月11日

⑱ 考 案 者 奈 良 元 悟 千葉県柏市花野井627番地

⑲ 出 願 人 株式会社飛弾製作所 千葉県柏市花野井627番地

⑳ 代 理 人 弁理士 松丸 国雄

明 細 書

1 考案の名称

容器

2 実用新案登録請求の範囲

ガラス容器1の外側を樹脂又は射出成形可能なゴム材等の軟質材からなる外装体2を以つて被覆してなる容器

3 考案の詳細な説明

産業上の利用分野

本案は表面処理性の良好なガラス容器に関するものである。

従来の技術及び考案が解決し解決しようとする問題点

ガラスは各種溶剤や薬物に耐性があり且つ気密性も良く、古くから容器の材質として使用されてきたが、反面、割れ易く各種表面処理例えばホットスタンプ、転写、印刷等の処理がしにくくガラス上では特殊な処理が必要であつた。

本案は前記ガラス材の長所を温存した状態でガラスの欠点を改革し表面処理性の極めて良好

(1)

554

実開 3 - 3503 3

公開実用平成 3—35033

なガラス容器を提供しようとするものである。

問題点を解決するための手段

本案は表面処理性の優れたガラスの容器に係り、ガラス容器 1 の外側を樹脂又は射出成形可能なゴム材等の軟質材からなる外装体 2 を以つて被覆してなる構成を要旨とするものである。

作用

而して本案はガラス容器¹の外側を樹脂又はゴム等の軟質材からなる外装体 2 で包むようにしたもので、ホツトスタンプ、転写、印刷等が容易にでき且つこれら以外の乾式及び湿式のメッキも丈夫で実用的なものを得ることが可能となるものである。

実施例

以下本案の具体的構成を図面に示す実施例について説明すると、1 はガラス製の容器、2 は各種プラスチック又は射出成形可能なゴム材（フッ素、ウレタン）等の軟質材からなる外装体であつて前記容器 1 の外側に被覆せしめたものである。

考案の効果

本案は前記の如くガラス容器 1 の外側を樹脂又は射出成形可能なゴム材等の軟質材からなる外装体 2 を以つて被覆したもので、ガラスの持つ長所即ち各種溶剤や薬物に対する耐性と気密性の良好な点はそのまま温存され、且つガラス容器 1 の外側は前記材質による外装体 2 で被覆したもので割れ難くしかもホットスタンプ、転写、印刷等の各種表面処理も容易にでき、耐中味性の良い丈夫で表面処理性の良好な容器を提供し得る効果を有するものである。

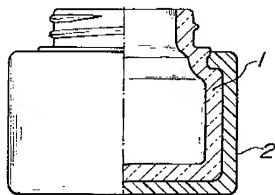
4. 図面の簡単な説明

図面は本案の要部を示す容器の一部断面図である。

1 … ガラス容器、 2 … 外装体。

代理人、弁理士 松 丸 国 雄

公開実用平成 3— 35033



代理人、弁理士 松丸 国雄

No. 3 - 35033